



ワクチン接種についての思いは

高松 幸雄議員

早く通常の生活に戻ることを願う
市長



▲市の第2回ワクチン接種訓練

問 ワクチン接種の流れ、接種券を忘れた場合、予約の方法、電話の予約回数などは。

答 対象者へ接種券を送付し、そこに会場や日時の案内チラシを同封する。記載の予約専用電話、もしくはインターネットにより接種日の予約をする。チラシに記載の開始日より電話は、平日の午前9時から午後4時まで、インターネットは、平日・土日も24時間受付を行う。

予約専用電話としては10回線を予定。予約日の1週間ほど前に市から予診票並びに体調チェックリストを送付するので、事前に記入をし、接種券と一緒に当日会場に持っていく。接種券を忘れた場合は、接種ができません。

問 集団接種会場は佐屋の保健センター、立田南部地区防災コミュニティセン

ター、八開総合福祉センター、川淵地域防災コミュニティセンター、永和地区防災コミュニティセンター、親水公園総合体育館及び市役所南館の計8カ所、個別接種は市内の医療機関16カ所ほどを予定しているということだが、接種数の想定は。

答 6万738人を対象とし、その8割である4万8千590人を想定。

たことよって感染症の拡大が終息をすること、副反応が出ないこと、安全で接種を終えられ、通常の生活に戻ることを願っている。現状では4月後半にワクチンが1箱500人分送られてくるということだが、このワクチンについて、どのような取り扱いをしていくのか考えなければならぬ。市は、スムーズな接種が進むよう、ワクチン接種に望んでいきたい。

問 65歳以上の方には自宅と接種会場までのタクシーチケットを送付し、迎車料金と初乗り料金の往復分を2回、補助されるが、集団接種会場までの送迎バスは考えてないか。

答 バスによる送迎の考えはない。

問 ワクチンの接種が始まることについて市長の思いは。

答 このワクチンが新型コロナウイルスに対して効果があること、接種し